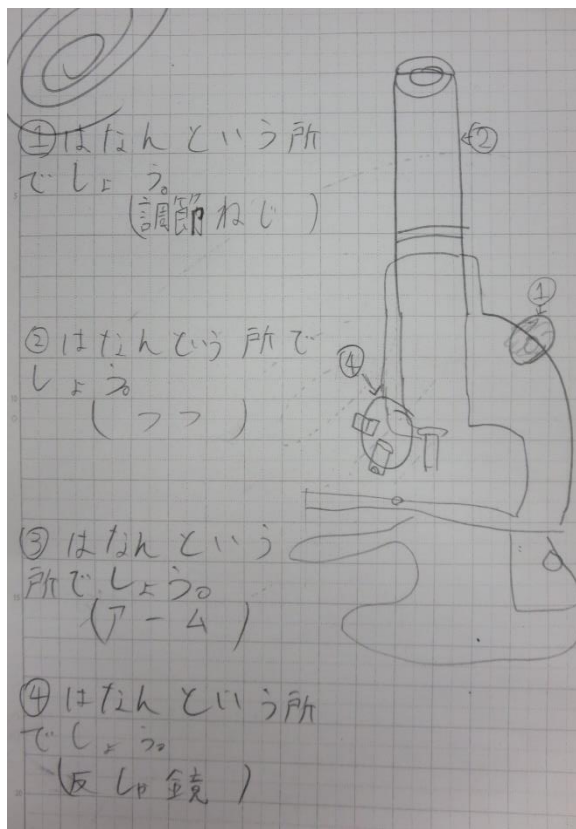
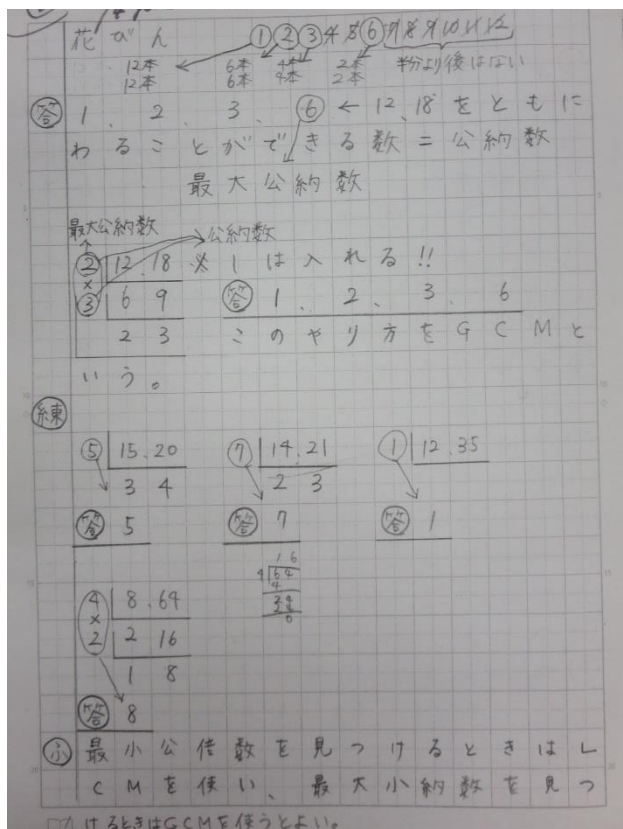




見つけノートの充実が素晴らしい

今見つけノートは、授業のノートのトレース（写したりまとめ直したり）を中心に出しています。子どもたちは丁寧にノートに書いてくるようになりました。どの子も素晴らしいです。



左の算数は、小田さんの見つけノートです。授業で勉強したことや教科書に書いてあることをもとに約数・公約数の見つけ方や1も約数であることなど丁寧にまとめていました。

右の理科は、岡君の見つけノートです。授業で確かめをした顕微鏡の各部の名前を覚えるのに顕微鏡をしっかりと書きこんでいました。4日の花粉の観察でも細かく書き込んでいました。「世界地図のようじゃ」と言っていました。みんなのノートの充実ぶりは目を見張るものがあります。授業中にしっかりノートをとることで家での復習に使えます。これからもがんばりましょう。

神石高原町の活性化を考える（総合の時間）

考える視点として、「今すんでいる人が住みやすい環境は」と「他の町から来てもらうには」という視点が考えられますが、子どもたちは「他の町から来てもらうには」ということで考えている児童がほとんどでした。町の政策企画課の方にお話をしたら、町長さんが来られることになりました。どんな取組をすることが住みやすい町作りになるかこれからしっかり考えます。

2学期の班 決まる

1班 三輪君 川上君 神崎さん
2班 岡君 川角君 小田さん
3班 清水君 小畑君 和泉さん
です。班の目標も決めました。
協力していこう！

時々スケッチ朝会しています

筆箱、指パート1、指パート2と3回しました。
15分勝負です。思い切りよくさっと描き、陰影まで付けるのは大変です。最初の筆箱では少ししか描けなかった子も自分描けるようになりました。神社を描きに行くまでには立体感のある絵が描けるようにさらに修行を積みまます。

算数「最大公約数をつかって」の学習をしました。18cmと12cmの方眼紙を正方形に余りなく切るには、一辺の長さを何cmにすればいいですか。という問題は、見通しとして「わり算を使えばいい」「表をかけばいい」といった考えが出ました。一辺の長さを1cmから順にみていくと12と18をともに割ることができる数「公倍数」を求めればよいということが分かってきました。そこで、表にした人は次に12と18の公約数を求めていきました。

練習問題では、5年36人と6年48人を同じ数ずつ分けてできる一番多いグループは何グループですか。という問題は、岡君があっという間に解きました。ひらめいたみたいです。

最大公約数を使ったり、ノートには表を書いたりしていました。その後次々とひらめいて解いていました。

